

令和7年度第4回総合計画審議会委員からの事前意見一覧

資料8

通しNo.	発言	該当ページ	該当箇所	委員名	委員意見
1	④事前意見	P17	KGI (5) ア	内山	①KGI指標40 公共交通機関での市内の移動が便利だと思う市民の割合について前計画も、今回も、市民アンケートにおいて交通の便に関して課題感を感じている方は少なくなく、生活の満足度にも直結する問題であり、取り組みを充実させる必要があると考えます。
2	④事前意見	P62	施策23_防災・減災	別所	成果目標の3（総合防災訓練及び地域防災訓練の参加者数）、4（防災教室の参加者数）を目標とする場合、その結果をみることも必要ですので、参考データとして参加者アンケートを実施し、参加による意識向上が図られたかどうかを観察することも含めていただければと思います。
3	④事前意見	P63	施策23_防災・減災	別所	防災については、ハード面（インフラ面）での対応をソフト面の両面の対応が必要ですが、詳細施策の2301（災害被害軽減化の推進）と2302（災害時即応体制の強化）はそのうちハード面での対応を進めることが主要な内容となっており、これらについては予算立てを含めて進めて頂けるものと考えています。一方、ソフト面は住民の方々の防災意識の向上を基盤とするため、防災意識の向上が何よりも鍵となると考えています。詳細施策の2303はその点についての取組を掲げていますが、防災講演会の開催、防災リーダー研修会の開催は、その方法や内容が肝となるものであり、そこに触れておく必要があると考えています。デジタル化とも関連しますが、現在のVR（バーチャルリアリティ）技術を用いた防災訓練（実際の被害発生状況や避難経路の適不敵を可視的に把握することができるもの）などで災害に対する危機意識を高め防災の必要性を強く実感してもらうこと等、アプローチ方法を工夫していくことが内容として盛り込んでいってはいかががでしょうか。特に、デジタルツインの作成に要する費用や時間が従来に比べると著しく下がっていて、まちづくりにおけるシミュレーションなどにもVRの活用は極めて有益であるため、VR活用を組み込むことは有用だと考えます。防災ナビの利用やハザードマップの活用なども住民の方々の意識に依存しているため、その点を重視いただければと思います。詳細施策2304についても同様にVRシミュレーションをベースに整備を考えていってはいかががでしょうか。
4	④事前意見	P64	施策24_安全・安心	別所	成果目標の2（防犯カメラ補助件数）ですが、防犯カメラの犯罪の抑止効果に加えて現在の犯罪捜査に防犯カメラ映像が果たしている役割が大きいことを考えると目標の方向性として「維持」が良いのかどうか見直しても良いのではないのでしょうか。

令和7年度第4回総合計画審議会委員からの事前意見一覧

資料8

通しNo.	発言	該当ページ	該当箇所	委員名	委員意見
5	④事前意見	P65	施策24_安全・安心	別所	詳細施策2401について、特殊詐欺対策のハード面での対策としての迷惑電話防止機能付き電話の購入補助は有効だと思いますが、むしろ手口が変化する特殊詐欺については情報発信のみならず地域における啓発活動（金融機関の窓口での送金防止に限らず、近隣の方々による注意喚起等による防犯のためのもの）を行うといったことも必要ではないでしょうか。
6	④事前意見	P65	施策24_安全・安心	別所	詳細施策2402については自転車に限らず、現在普及してきている種々のマイクロモビリティ（電動キックスクーターや無登録の電動自転車等）の対応を視野に入れて項目を追加することを検討されてはいかがでしょうか。
7	④事前意見	P65	施策24_安全・安心	別所	詳細施策2403については、消費者センターを設置する場合、例えばオンラインショッピングモールの運営者や種々のオンライン決済事業者との意見交換や情報交換なしには何が起きているのかを把握することができないため、協議会を設置していくことも含めて頂けないでしょうか。また、重要な視点は、犯罪者による行為と一般の事業者による行為を峻別して対応策を考えなければならないということであり、啓発を行っていく際に詳細施策2401に関連する啓発と純粋な消費者対策とを区別して、より消費者にわかり易い発信をしていくということに努めていただきたいと考えています。
8	④事前意見	P66	施策25_都市基盤	別所	成果目標の3（路線バスの路線数）ですが、3年後の令和10年度の目標数としては理解できますが、将来的に路線数をどのようにしていくのかという設計をしておくことの方が重要ではないでしょうか。利用者数減少や運転士不足により路線バスは大幅な減便、廃止が複数回行われているということですので、短期的には現状の路線数を確保できたとしても中長期的に確保できるかどうか、あるいは確保の必要を認めるのかが課題となってきます。そこで、今回の計画では路線数維持を掲げつつ、詳細施策2504では、将来の路線数のあり方の検討というものを取り組みとして掲げておくのはどうでしょうか。
9	④事前意見	P66	施策25_都市基盤	別所	詳細施策2501から2503については是非、VRの活用を検討ください。
10	④事前意見	P66	施策25_都市基盤	別所	詳細施策2504については上述した通り将来の路線数のあり方の検討を取り組みに追加できるかどうか検討ください。また、AIオンデマンド交通・自動運転技術の実証については令和10年度までという時間軸に照らすと、実証で止まっているスピードでは遅いため、部分的でも良いので、AIオンデマンド交通か自動運転の運用開始というのを掲げてはどうでしょうか。

通しNo.	発言	該当ページ	該当箇所	委員名	委員意見
11	④事前意見	P66	施策25_都市基盤	内山	KPI（成果目標）に◆施策25のKPI - 3路線バスの路線数の維持が挙げられていますが、現状維持を目標とする指標がKGIを伸ばすことにつながりそうでしょうか。人口減少、コンパクトシティを鑑みれば、現状維持は目標となり得るかもしれませんが、主要なKPIとして妥当でしょうか。詳細施策のほうで、おだタク・おだチケなどが、利便性の促進に貢献しそうな取り組みとしてありますが、こちらは対象者が限定されるため主要KPIとしていないということでしょうか。また、おだタク以外のコミュニティ・バスの導入も検討可能性があるのではないのでしょうか。
12	④事前意見	P68	施策26_生活空間	別所	成果目標ですが、詳細施策2602の主な取組として「無電柱化の推進」が掲げられていますので、景観だけではなく防災という観点からも重要な対策であることに照らし、成果目標の中に何Kmに渡って無電柱化を行うのかという項目を追加することを検討いただけないのでしょうか。
13	④事前意見	P68	施策26_生活空間	内山	◆施策26のKPI - 4市民生活道路改良事業による整備延長について、R7年度実績を基準としたとのことでしたが、「75m」の妥当性がわかりにくいので、教えていただきたいです。
14	④事前意見	P69	施策26_生活空間	内山	詳細施策2603が生活道路の整備と維持管理であります。が、「計画的な修繕」とあるものの、生活道路の整備計画を確認できませんでした（「小田原市道路施設修繕計画」は確認できましたが、「小田原市道路整備計画」（R4～）にはアクセスできませんでした）。計画を示して、市民が改善にむけて期待や見通しを持てるようにしていくことが、KGIにつながるのではないのでしょうか。
15	④事前意見	P68	施策26_生活空間	内山	②「暮らしやすく快適に住み続けることができるまち」とKGI指標41まちなか、公園川沿い等で心地よく歩ける場所がある市民の割合について ◆施策26のKPI - 5にわんぱくらんど等の利用者数が挙げられていますが、身近な公園（住区基幹公園）が整備されるほうが、よりKGIにつながるという見方もあるかと思えます。その点いかがでしょうか。身近な公園に関する利用者の意見などを聴取し、整備計画を策定して取り組んでおられるのでしょうか。
16	④事前意見	P70	施策27_上下水道	別所	成果目標、詳細施策に関しての意見はありませんが、人口減少の進行等によって料金収入が減少していくことは避けられない事実であり、長期的に見れば、仮に上下水道管理を民間に委ねたとしても現状の上下水道網をそのまま維持できると考えることはできない状況にあります。そのため、道路や交通網と同様に、どこまで維持が可能かということを考え始めていく時期ではないかと思えます。ただ、上下水道については道路とは異なり、オフグリッドでの対応が技術的には可能となっていますので、どこまでを維持し、どこからおオフグリッド化していくのかという観点で検討されていってはいかがでしょうか。

令和7年度第4回総合計画審議会委員からの事前意見一覧

資料8

通しNo.	発言	該当ページ	該当箇所	委員名	委員意見
17	④事前意見	P72	施策28_行政経営	別所	成果目標の2（ふるさと納税寄付受入額）ですが、小田原市のポテンシャルに照らして16億円という目標額はかなり小さいと思います。ふるさと納税制度そのものの是非はあると思いますが、現行の制度として認められているものですので、かなり積極的に取り組んでも良いのではないかと思います。
18	④事前意見	P73、P30	施策28_行政経営、 施策30_多様な主体とのまちづくり	別所	企業版ふるさと納税制度も期間が延長されましたので他の自治体の例なども参考に力を入れはどうでしょうか。特に企業版ふるさと納税人材派遣型など活用することで企業（民間）との取り組みも進むことが期待でき施策30の詳細施策3002（公民連携の推進と関係人口の創出）にもふるさと納税は貢献できると思います。
19	④事前意見	P72	施策28_行政経営	別所	4（女性職員の管理監督者への昇任希望率）については管理監督者の割合を使わなかった理由を教えてくださいませんか。また、対照できるように現状の男性職員の管理監督者への昇任希望率も教えてくださいませんか。それらを踏まえて、考えるのが適切ではないかと思います。
20	④事前意見	P73	施策28_行政経営	別所	詳細施策2804の基本は、小田原市職員の組織開発だと考えています。組織開発という観点からは研修を実施するだけではなく、日々の業務を通じての組織開発（組織マネジメント）が重要ですので、民間企業で行われているような1on1を取り入れて体系的に整備をするということを考えてみてはどうでしょうか。
21	④事前意見	P74	施策29_デジタル化	別所	成果目標の2（電子申請システム取扱サービス数）については、電子申請システムを使って申請された申請数にするか、あるいは、申請数も目標に追加することを検討いただければと思います。行政機関側としては提供するサービス数が充実すればという視点だと思いますが、利用者側（住民）からすれば使いたいシステムとなっているかどうかの方が重要です。オンラインで申請するよりも窓口に出かけてしまった方が便利というようなものではデジタル化は進みません。また、後述しますがユーザビリティテストを導入することも詳細施策の中では検討いただければと思います。

通しNo.	発言	該当ページ	該当箇所	委員名	委員意見
22	④事前意見	P75	施策29_デジタル化	別所	A Iについて文言は一部含まれていますが、今後のテクノロジーの進展スピードに照らすとA Iの積極的利用は不可欠だと考えられます。成果目標の中に生成A Iの利用職員数が記載されているものの、主な取り組みとして掲げられている事項の中にA Iについて触れているものがなく、詳細施策の2901に、情報セキュリティレベルの向上と並べてA I利用促進のための施策を入れられないでしょうか。特に、生成A IはChat-GPTの利用をはじめとして人々の生活の中に入り込んでいますので、それ以上に行政としてどのように取り組むのかを考える必要があります。行政庁内の各種の問い合わせをA I対応としたり、議会答弁案などもA Iで草案を作成させたりすることなども可能となっています。これらを実現するためには、庁内のドキュメント、条例、議事録、各種資料などをA Iに学習させる必要があります、AI readyという状態を作り出していくことが求められています。これらのことをしっかりと捉えて進んでいかなければ他の自治体に遅れを取ることにもなりかねません。
23	④事前意見	P75	施策29_デジタル化	別所	最近のA Iの発展はプログラミングの自動化という点での進んでおり、それらのテクノロジーをどのように取り入れていくのかという視点が不可欠です。一方、A Iの発展はLLMと言われるモデルに限られるものではなく、画像生成や分析、ロボティクスの発展にも結びついていきますので、LLMを用いる生成A Iだけではなく、広くA I利用については考えておくことが肝要だと思います。そのために詳細施策の2901に、行政組織をAI readyとするという取り組みを追加するというのはどうでしょうか。
24	④事前意見	P76, P77	施策30_多様な主体とのまちづくり	別所	成果目標にホームページアクセス数を入れることは良いと思いますが、その分析をしておくことが重要だと思います。少なくとも、どのような経路でホームページを訪れたのか、ユニークユーザ数、滞在時間など、見ておかなければならない指標を定め、少なくとも週次で追いかける仕組は作っておく必要があると思います。詳細施策3001にホームページの管理運用が掲げられていますので、上記に加えて、どのページが閲覧されているのかについても見ておいていただければと思います。